



Next Seminar

7 THU
6



7/6 男女の活躍を阻むジェンダー バイアスの影響と 対策研修体験 オンラインセミナー

今回は、ジェンダーバイアス（性別役割分担意識）の影響と対策を学び、本質的なことを考えるきっかけになればと思います。今回はトライアル版のため、講義が60分、質疑応答やディスカッションで30分の計90分です。詳細はこちらです。

詳細： <https://qr.paps.jp/Rs8m9>

7 WED
12



Jul,12,2023

7/12 『SDGs を超える、ソー シャルデザイン研修体験セミナー ～SDGs は知る時代から、行動 する時代へ～』

SDGs は知る時代から、行動する時代へ。その先にあるヒントが、ソーシャルデザインで社会課題を解決する力です。様々なソーシャルデザインの事例をもとに、ソーシャルデザインを学ぶための研修の体験セミナーです。

詳細： <https://qr.paps.jp/TN2ww>



7 WED
26



Jul,26,2023

7/26 すぐに仕事で使える!!統計超入 門研修体験セミナー

本セミナーは、初心者向けにデータサイエンスの根幹である「統計学」から全体像をつかみ、ビジネスでどのように活かされているかを学びます。

詳細： <https://qr.paps.jp/Mlyil>



講師インタビュー：もっとクリエイティブに、イノベティブに社会をかえる人

今回は、7月12日（水）15時より開催予定の『ソーシャルデザイン研修体験セミナー』の講師を務めて頂きます、一般社団法人 Think the Earth 理事 / プロデューサーの上田壮一氏にインタビューをさせて頂きました。

1. 現在のお仕事や活動について教えていただければと思います。

現在の活動ですが、2017年より sdgs for school という活動に力を入れております。クラウドファンディングで本を作る事からはじめて、全国の学校の先生たちに本を届けて、授業してもらうことを行っています。これまで延べ1500校に配布。目的は、持続可能な社会を実現する力を持った子供たちを学校で育成することをサポートために、このような活動を行っています。

企業向けには、研修・講演のほか、プロジェクトメイキングやソーシャルブランディングのお手伝いをしています。

2. 今回のプログラムを開発したきっかけは何かですか？

2015年にSDGsが採択され、2020年までSDGsの基本的なことがわからない人が多かったため、その基礎講座をやっていました。ただ最近はSDGsで課題をどう解決していくのか。知ることよりもアクションすることに大きくシフトしている。

SDGsはレジ袋を単にマイバッグに変えるということもより、もっとクリエイティブに、イノベティブに社会や世界、仕組みを変えていくような大胆な行動が求められている。

デザイン、クリエイティブ、コミュニケーションを通じて、社会課題に向き合うことが増えていて、そういう社会課題のアプローチがあることを知ってほしいと思ったのがきっかけです。

ネガティブなことではなく、ポジティブにワクワクする形で提案できる。共感を通じて人を動かすことが企業にとっても、子供たちにとっても参考になると思い、そちらにシフトしています。（裏面に続く）



上田さんの話を聞いていると、常に軸となる考えや哲学がしっかりしていて、その活動にかける想いであったり、行動が子どもにとっても、同じ大人にとってもロールモデルとなりえることを感じています。

最近は、企業から問い合わせがあった時に、SDGs の基礎編をやりますか?それとも解決策を示すソーシャルデザインの話をするか?との 2 択を提示すると、たいていは後者を選ぶ企業のほうが多いです。

それは学生においても同様です。

3. 今回のプログラムを通じて解決したいこと、目指すことは何でしょうか?

行動やアクションのイメージを変えたい。

2030 年までの 10 年間で、行動は何かを深掘していることが少ない。

どう行動するかイメージをかえたいし、そこをもっとみんなでディスカッションする機会を作りたいと考えています。

4. 今回のプログラムの特徴は何でしょうか?

本番で行う際の研修プログラムの特徴は、SDGs の命題である、トランスフォームと誰も取り残さないことに対して、どうやってアプローチができるのかという事例を豊富にご紹介している点にあります。

その事例を通じて、自分事にしてもらい、自分たちの会社なら何が出来るを考えてもらいたい。

クリエイティブに社会の問題を解決できる人材をいかにして増やせるか。サステナブルトランジションが実現できる人が求められている。そういう学生は育ってきている。

いまは変化の時代に入っており、柔軟性や自分を変えていく感性が大事になっている。

SDGs のゴール達成するためには、環境ではなく、人を変えないといけないという意見も出てきています。

それは IDGs (Inner Development Goals) と言われており、SDGs を達成できるような人間を作る。人の話を聞ける人、許すという感性を持っているかどうか利他心をもって大きく分けると 5 つのゴールがある。

SDGs は社会とか外部ですが、その前にもっと自分たちの内面を変えていく。

人間の内面を変えないと SDGs は達成できないと言われており、いま注目されています。

5. プログラムのこだわりを教えてください。

事例を多くお伝えしたい。デザインやアクションに対するイメージを変えてほしいと思っています。

認識の変化というか、パーセプションチェンジが起きるように伝えたいと思っています。個人でできることで発想がとまっている。生活ではなく、仕事でアクションすることがすごく大事。仕事を通じてパートナーシップの中でできるアクションを考えるようにしたい。そうすると、制度を変えとか、ビジネスモデルとか、意識改革もメディアならできる。明日からの研究課題をどうするかを考える機会にしたいと思っています。

6. 購読者へのメッセージをお願いします。SDGs のゴールまで後 7 年。今年 9 月にサミットが行われる。コロナ禍やウクライナ侵攻で世界が変わってしまった。その変化する世の中で企業、個人がより良い ずっと考えるきっかけになればと思っています。

詳細：<https://qr.paps.jp/TN2ww>
お申込み：
<http://www.entrelabo.co.jp/entry>



Under Planning



組織を強くし、最高のパフォーマンスを上げる力を養う

来年ははじめからスポーツ心理学の布施さんを講師に、毎月組織やリーダーとしてのスキルを学ぶ公開講座を企画することになりました。

これからアントレ・ラボ通信でも順次内容を発表してゆければと思います。



【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ

仲津定宏

今回はオンラインでのインタビューでしたが、本当にお話をお聞きできて良かったと思いますし、これからも、上田さんのお話を企業の方にも聞いて頂く機会を増やせるように努力してゆきたいとあらためて思いました。

研修実施報告

MBTI を活用したコミュニケーション研修実施報告



先日とある企業のリーダー・リーダー候補者に対して、MBTI を活用したコミュニケーション研修を実施しました。

講師は、スポーツ心理学で企業やスポーツチーム、アスリートのメンタルコーチ、組織コーチとして活躍をされている布施努さんです。

研修では、MBTI についてから、具体的に自分と反対のタイプの思考や行動特性をワークを通じて理解しあうワークショップを行いました。

日頃の業務などでの場面や相手を意識して、なぜそういう行動をしていたのかを理解し、今後はどのようにコミュニケーションをとることで組織やチームのパフォーマンスをあげる事ができるかを体感的に理解してもらったことができたのではないかと思います。